

【 健康支援と社会保障制度 】

授業科目	保健医療論	対象学年・時期	1年次・前期
		単位数	1
		時間数	15
講師名	医師	講義時間	14
		テスト時間	1 (45分)
学習目標	1. 医療の高度な発達の背景とその変遷を理解する。 2. 医の倫理に基づいた医療の役割を理解する。		
回	授業計画・内容	授業方法	
1回	1. 医学・医療のあゆみ 1) 医療の原始的形態 2) 古代・中世の医学 2. 健康と疾病 1) 生活と健康 2) 労働と健康	講義	
2・3回	3. 医と倫理 1) 医療倫理とは 2) 患者の権利 3) 脳死と臓器移植 4) 生殖医療 5) 遺伝学の発展と倫理的問題 6) 終末期医療 7) 安楽死と尊厳死 8) クローン再生	講義	
4・5回	4. 保健医療のあり方 1) 医学と医療 2) 医療における医師 - 患者関係 3) 患者からみた保健医療の質	講義	
6・7回	5. 我が国の医療供給体制 1) 医療保障の現状と課題 6. 保健医療チームの連携 7. 災害時の医療体制	講義	
評価方法	筆記試験		
テキスト	新体系看護学全書 健康支援と社会保障① 現代医療論 (メヂカルフレンド社)		
参考文献			

授業科目	公衆衛生		対象学年・時期	2年次・前期
			単位数	2
			時間数	30
講師名	非常勤講師		担当時間数	29
			テスト時間	1 (45分)
学習目標	1. 国民の健康に関する状況と生活環境を理解する。 2. 健康・疾病・障害と生活の関わりの基本的な概念を理解する。			
回数	主題	学習内容及び方法		授業方法
1回	健康と公衆衛生 (1)	健康の定義と公衆衛生		講義
2回	健康と公衆衛生 (2)	公衆衛生の歴史 (世界・日本)		
3回	健康と公衆衛生 (3)	プライマリヘルスケア、ヘルスプロモーション		
4回	疫学と健康に関する指標 (1)	人口動態統計、健康指標		
5回	疫学と健康に関する指標 (2)	臨床疫学、エビデンス		
6回	環境と健康	地球環境、生活環境、廃棄物		
7回	食品保健	食品衛生、栄養、中毒		
8回	感染症と予防	感染症法、院内感染		
9回	生活習慣病・難病対策	健康日本 21、難病法		
10回	地域保健	健康教育、保健行政		
11回	母子保健	母子保健事業、子育て支援		
12回	精神保健	精神医療、精神障害者支援		
13回	学校保健	学校保健安全法、学校給食、健康診断		
14回	産業保健	労働安全衛生、労働災害		
15回 (45分)	これからの公衆衛生	健康危機管理		
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 専門基礎 公衆衛生 健康支援と社会保障制度②(医学書院) わかりやすい公衆衛生学 (ヌーベルヒロカワ)			
参考文献	国民衛生の動向 (厚生統計協会)			

授業科目	社会福祉	対象学年・時期	3年次・前期
		単位数	2
		時間数	30
講師名	非常勤講師	講義時間	29
		テスト時間	1 (45分)
学習目標	1. 社会福祉の理念とその変遷を理解する。 2. 看護に活用する様々な社会資源の制度と仕組みを理解する。		
	授業計画・内容	授業方法	
1回	1. 現代社会の変化と社会保障・社会福祉の動向	講義	
2回	2. 社会保障制度と社会福祉の概要 1) 目的・機能・定義 2) 社会保障の内容 3) 社会福祉の法制度		
3回	3. 社会保障制度の外観と社会保険の概要 1) 医療保険 2) 年金保険 3) 労災保険 4) 雇用保険 5) 介護保険		
4回	4. 公的扶助 1) 貧困・低所得問題と公的扶助制度 2) 生活保護制度の仕組み		
5回	5. 医療保障 1) 医療保険制度 2) 健康保険と国民保険 3) 高齢者医療保険制度		
6回	6. 介護保障 1) 介護保険制度の概要 2) 保険給付とサービスの種類 3) 介護保険制度の課題		
7回	7. 所得保障 1) 所得保障制度の仕組み 2) 年金保険制度 (国民・厚生年金) 3) 社会手当 (児童・障害手当)		
8回	8. 労働保険制度 1) 雇用保険 2) 労働災害保険		
9回	9. 社会福祉の歴史と定義		
10回	10. 社会福祉に関連する法律		
11回	11. 社会福祉援助 1) 社会福祉援助とは 2) 個別・集団・間接援助技術 3) 医療・看護・福祉の連携の実際		
12回	12. 高齢者福祉		
13回	13. 障害者福祉		
14回	14. 児童福祉と母子保健 15. 政策医療 1) ハンセン病の歴史		
15回	まとめ		
評価方法	筆記試験		
テキスト	系統看護学講座 専門基礎 社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度③(医学書院)		
参考文献	特に指定しないが、社会保障制度の課題に関する書籍に目を通すことが望ましい。		

授業科目	関係法規		対象学年・時期	3年次・前期
			単位数	1
			時間数	15
講師名	事務部職員 薬剤師 社会福祉士 助産師・看護師		担当時間数	14
			テスト時間	1 (45分)
学習目標	1. 医療に関する法の基本原理と仕組みを理解する。 2. 看護職の法的根拠である保健師助産師看護師法について理解する。 3. 看護業務と医療事故に対する看護の法的責任を理解する。 4. 労働者としての権利と患者の安全を守るため関連する法律について理解する。			
回数	主題	学習内容及び方法		授業方法
1回 2回	法の概念	1. 法の基礎的知識と法制度の仕組み 2. 生活者の健康に関わる法規の分類		講義
	医事法	3. 医療施設の規制に関する法律 1) 医療法 4. 医療関係者に関わる法律 1) 医師法		講義
	労働法と 社会基盤整備	5. 看護職と労働に関する法 1) 労働基準法 2) 労働安全衛生法 3) 看護職と就業規制		講義
3回	医療関係者に関わる法規 薬務法	1. 医療関係者に関わる法規 1) 薬剤師法 2. 医薬品・医療機器その他国民の衛生上必要な規制 1) 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保に関する法律 2) 再生医療・血液製剤・薬剤被害の救済に関する法律等 3) 麻薬・毒薬等		講義
4回	社会保険法	1. 人々の生活を支える社会保険法 1) 医療保障 2) 介護保障 3) 所得保障		講義
5回	福祉法	2. 人々の生活を支える福祉 1) 福祉の基盤 2) 児童・高齢・障害分野		講義
6回 7回	看護法	1. 看護職に関わる法律 1) 保健師助産師看護師法 2) 看護師等の人材確保の促進に関する法律		講義
評価方法	筆記試験			
テキスト	系統看護学講座 専門基礎 看護関係法令 健康支援と社会保障制度④(医学書院)			
参考文献	国民衛生の動向 (厚生統計協会)			